

**第3次八幡市環境基本計画
中間見直し(案)
＜見直し抜粋版＞**

**含 地球温暖化対策実行計画
〔区域施策編〕**

令和 9 年(2027 年)3 月

八 幡 市

3-3 環境指標

本計画の実行性を確保し、着実な推進を図るためには、評価指標を設定し取組状況を定期的に把握したうえで評価を行い、適切な見直しを継続的に行っていくことが重要です。

基本方針ごとの環境指標を下記のとおり設定します。環境指標については、環境像の実現に向けて実施する施策や取組の動向を検証するため、毎年度把握します。

表 1 環境指標目標値

基本方針・目標項目	実績値 (令和2年(2020年)度)	目標値 (令和13年(2031年)度)※1
基本方針1 脱炭素社会に挑戦するまち(八幡市地球温暖化対策実行計画)		
市内の温室効果ガス排出量	平成25年(2013年)度比 20.7%減 (平成30年(2018年)度)	平成25年(2013年)度比 46%減 (令和12年(2030年)度)
再生可能エネルギーの導入容量	12,104kW (令和元年(2019年)度)	27,000kW※2 (令和12年(2030年)度)
基本方針2 ごみを減らし資源が循環するまち		
1人1日あたりのごみ排出量	810g/人・日	780g/人・日 (令和8年(2026年)度)※3
再資源化率(可燃・不燃)	15.9%	35% (令和8年(2026年)度)※3
基本方針3 人と自然が共生するまち		
やわたのまちの小さな仲間たちフォトコンテスト参加者数	14名	毎年増加
グリーンカーテン写真コンテスト参加者数	10名	毎年増加
基本方針4 安心して快適に住み続けられるまち		
不法投棄件数	28件	毎年減少
不適正な燃焼行為件数	7件	毎年減少
基本方針5 みんなで取り組む環境活動のまち		
環境学習参加者数※4	442人	毎年増加
美化運動参加者数※5	11,708人	毎年増加

※1 一部目標値は、国の計画やその他計画に合わせて目標年度を定めています。

※2 再エネポテンシャル(レベル1)及び国の第6次エネルギー基本計画におけるエネルギーミックス*の太陽光構成比目標現行(2019年)6.7%⇒2030年14~16%(2.2倍)と整合

※3 令和9年(2027年)度以降の目標値については、八幡市一般廃棄物処理基本計画の改定により見直しを行います。

※4 環境学習人数については、第5次八幡市総合計画で指標としているグリーンカーテン講習会を含む、市が主体として市民向けに開催する、環境学習の参加人数を集計しています。

※5 美化運動参加者数については、歩道・公園など、公共の場での美化運動に参加した人数を集計しています。

3-3 環境指標

本計画の実行性を確保し、着実な推進を図るためには、評価指標を設定し取組状況を定期的に把握したうえで評価を行い、適切な見直しを継続的に行っていくことが重要です。

基本方針ごとの環境指標を下記のとおり設定します。環境指標については、環境像の実現に向けて実施する施策や取組の動向を検証するため、毎年度把握します。

表 1 環境指標目標値

基本方針・目標項目	実績値 (令和6年(2024年)度)	目標値 (令和13年(2031年)度)※1
基本方針1 脱炭素社会に挑戦するまち(八幡市地球温暖化対策実行計画)		
市内の温室効果ガス排出量	平成25年(2013年)度 比11.1%減 (令和5年(2023年)度)	平成25年(2013年)度比 46%減 (令和12年(2030年)度)
再生可能エネルギーの導入容量	14,958kW (令和6年(2024年)度)	27,000kW※2 (令和12年(2030年)度)
基本方針2 ごみを減らし資源が循環するまち		
1人1日あたりのごみ排出量	810g/人・日	780g/人・日 (令和8年(2026年)度)※3
再資源化率(可燃・不燃)	15.9%	35% (令和8年(2026年)度)※3
基本方針3 人と自然が共生するまち		
やわたのまちの小さな仲間たちフォト コンテスト参加者数	36名	毎年増加
グリーンカーテン写真応募キャンペーン 参加者数	22名	毎年増加
基本方針4 安心して快適に住み続けられるまち		
不法投棄件数	21件	毎年減少
不適正な燃焼行為件数	11件	毎年減少
基本方針5 みんなで取り組む環境活動のまち		
環境学習参加者数※4	1,928人	毎年増加
美化運動参加者数※5	14,167人	毎年増加

※1 一部目標値は、国の計画やその他計画に合わせて目標年度を定めています。

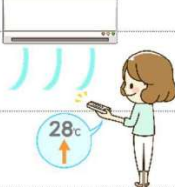
※2 再エネポテンシャル(レベル1)及び国の第6次エネルギー基本計画におけるエネルギーミックス*の太陽光構成比目標現行(2019年)6.7%⇒2030年14~16%(2.2倍)と整合

※3 令和9年(2027年)度以降の目標値については、八幡市一般廃棄物処理基本計画の改定により見直しを行います。

※4 環境学習人数については、第5次八幡市総合計画で指標としているグリーンカーテン講習会を含む、市が主体として市民向けに開催する、環境学習の参加人数を集計しています。

※5 美化運動参加者数については、歩道・公園など、公共の場での美化運動に参加した人数を集計しています。

家庭の中で無理なくできる省エネ行動

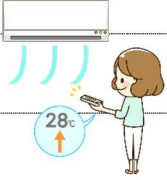
冷暖房 機器	● 夏のエアコンは 28℃目安（設定を1℃上昇） →→ CO₂削減量 14.8kg／約 820 円節約（年間あたり、以下同様） ● 冬のエアコンは 20℃目安（設定1℃低下） →→ CO₂削減量 25.9kg／約 1,430 円節約 ● フィルターを月に 1～2 回清掃 →→ CO₂削減量 15.6kg／約 860 円節約 ● 電気カーペットの設定温度は低め（3 畳用で「強」から「中」） →→ CO₂削減量 90.8kg／約 5,020 円節約 
照明	● 電球形 LED ランプに取り替え（54W 白熱電球を 9W 電球形 LED ランプに交換） →→ CO₂削減量 43.9kg／約 2,430 円節約
テレビ	● テレビを見ないときは消す（1 日 1 時間 32V 型テレビ減らす） →→ CO₂削減量 8.2kg／約 450 円節約 ● 画面は明るすぎない（32V 型テレビの輝度を最大から中間に） →→ CO₂削減量 13.2kg／約 730 円節約 
キッチン	● 冷蔵庫にものを詰め込みすぎない（半分にする） →→ CO₂削減量 21.4kg／約 1,180 円節約 ● 冷蔵庫の設定温度は適切に（「強」から「中」に） →→ CO₂削減量 30.1kg／約 1,670 円節約 ● 食器を洗うときは低温設定（水道水 65L、40℃→38℃で 2 回/日手） →→ CO₂削減量 19.7kg／約 1,430 円節約 ● 野菜の下ごしらえに電子レンジを活用（ガスコンロから電子レンジに） 葉菜（ほうれん草、キャベツ） →→ CO₂削減量 12.2kg／約 990 円節約 果菜（ブロッコリー、カボチャ） →→ CO₂削減量 13.0kg／約 1,060 円節約 
掃除 洗濯	● 自然乾燥を併用（自然乾燥 8 時間後、未乾燥のものを補助乾燥する場合） →→ CO₂削減量 192.6kg／約 10,650 円節約
風呂・ トイレ	● 入浴は間隔をあけずに（2 時間放置で 4.5℃低下） →→ CO₂削減量 85.7kg／約 6,190 円節約 ● シャワーは不必要に流したままにしない ※シャワーの水量は 12L/分。家族 4 人×4 分で浴槽 1 杯分とほぼ同じ。 →→ CO₂削減量 28.7kg／約 3,210 円節約（1 分間短縮で） ● 温水洗浄便座のフタを閉めた場合 →→ CO₂削減量 17.0kg／約 940 円節約 ● 暖房便座の温度は低めに →→ CO₂削減量 12.9kg／約 710 円節約（設定温度を「中」→「弱」） 
移動	● ふんわりアクセル「e スタート」（5 秒間で 20km/h 程度加速） →→ CO₂削減量 194.0kg／約 11,950 円節約 ● 公共交通機関のキロあたりの CO₂ 排出量 →→ バスは自動車利用の約 1/2、鉄道は自動車利用の約 1/7

※「省エネ性能カタログ2015年夏版」（資源エネルギー庁）及び「家庭の省エネ大事典2012年版」（一般財団法人省エネルギーセンター）をもとに作成。

※掲載データは、一般財団法人省エネルギーセンターの実測値を使用。ご使用の機器・居住地域・住宅などにより異なります。

出典：経済産業省資源エネルギー庁「省エネポータルサイト」

家庭の中で無理なくできる省エネ行動

冷暖房 機器	● 夏のエアコンは 28℃目安（設定を 1℃上昇） →→ CO₂削減量 14.8kg/約 820 円節約（年間あたり、以下同様） ● 冬のエアコンは 20℃目安（設定 1℃低下） →→ CO₂削減量 25.9kg/約 1,430 円節約 ● フィルターを月に 1～2 回清掃 →→ CO₂削減量 15.6kg/約 860 円節約 ● 電気カーペットの設定温度は低め（3 畳用で「強」から「中」） →→ CO₂削減量 90.8kg/約 5,020 円節約 
照明	● 電球形 LED ランプに取り替え（54W 白熱電球を 9W 電球形 LED ランプに交換） →→ CO₂削減量 43.9kg/約 2,430 円節約
テレビ	● テレビを見ないときは消す（1 日 1 時間 32V 型テレビ減らす） →→ CO₂削減量 8.2kg/約 450 円節約 ● 画面は明るすぎない（32V 型テレビの輝度を最大から中間に） →→ CO₂削減量 13.2kg/約 730 円節約 
キッチン	● 冷蔵庫にものを詰め込みすぎない（半分にする） →→ CO₂削減量 21.4kg/約 1,180 円節約 ● 冷蔵庫の設定温度は適切に（「強」から「中」に） →→ CO₂削減量 30.1kg/約 1,670 円節約 ● 食器を洗うときは低温設定（水道水 65L、40℃→38℃で 2 回/日手洗い） →→ CO₂削減量 19.7kg/約 1,430 円節約 ● 野菜の下ごしらえに電子レンジを活用（ガスコンロから電子レンジに） 葉菜（ほうれん草、キャベツ）→→ CO₂削減量 12.2kg/約 990 円節約 果菜（ブロッコリー、カボチャ）→→ CO₂削減量 13.0kg/約 1,060 円節約 
掃除 洗濯	● 自然乾燥を併用（自然乾燥 8 時間後、未乾燥のものを補助乾燥する場合） →→ CO₂削減量 192.6kg/約 10,650 円節約
風呂・ トイレ	● 入浴は間隔をあけずに（2 時間放置で 4.5℃低下） →→ CO₂削減量 85.7kg/約 6,190 円節約 ● シャワーは不必要に流したままにしない ※シャワーの水量は 12L/分。家族 4 人×4 分で浴槽 1 杯分とほぼ同じ。 →→ CO₂削減量 28.7kg/約 3,210 円節約（1 分間短縮で） ● 温水洗浄便座のフタを閉めた場合 →→ CO₂削減量 17.0kg/約 940 円節約 ● 暖房便座の温度は低めに →→ CO₂削減量 12.9kg/約 710 円節約（設定温度を「中」→「弱」） 
移動	● ふんわりアクセル「e スタート」（5 秒間で 20km/h 程度加速） →→ CO₂削減量 194.0kg/約 11,950 円節約 ● 公共交通機関のキロあたりの CO₂ 排出量 →→ バスは自動車利用の約 1/2、鉄道は自動車利用の約 1/7

※「省エネ性能カタログ2015年夏版」（資源エネルギー庁）及び「家庭の省エネ大事典2012年版」（一般財団法人省エネルギーセンター）をもとに作成。

※掲載データは、一般財団法人省エネルギーセンターの実測値を使用。ご使用の機器・居住地域・住宅などにより異なります。

出典：経済産業省資源エネルギー庁「省エネポータルサイト」

変更前

第3次八幡市環境基本計画 P.93

個別施策・内容	具体的な取組
健康・経済活動・市民生活の取組	
熱中症予防の推進	熱中症予防のため、ホームページ・SNS・広報誌での周知、各種講座の開催・イベント開催時の注意喚起など、熱中症に関する情報の効果的な発信・普及啓発を進めます。
衛生害虫感染症への適応	ヒトスジシマカによるデング熱などの感染症についての情報を収集・発信し、感染症の予防に努めます。
市内の緑化の推進	地域や街かどの緑化を推進するとともに、市民・事業者と連携、協働しながら適正な維持管理に努めます。 みどりのグリーンカーテンの推進や住宅・事業所の接道部や壁面での緑化を進めます。
市民生活での適応	有事時のライフラインの断絶に備え、備蓄資機材等の整備を進めるとともに、市民自身にも備蓄の啓発を進めます。

<市民・事業者の取組>

市民の取組	事業者の取組
・災害時に備え、水を備蓄します。 ・最新のハザードマップを確認し、自主避難計画を作成します。 ・災害を想定した実践的な防災訓練に参加します。 ・気候変動適応に関する情報収集に努めます。 ・猛暑時には屋外での活動を控えます。 ・エアコン等を活用して、適切な体温調整を心がけるとともに、水分補給をこまめに行います。 ・涼しい軽装、クールビズで行動します。 ・感染症が発生した場合は、正しい情報を収集して予防策をとります。 ・グリーンカーテンの設置など、家庭の緑化に努めます。	・農作物を栽培する場合には、高温障害に強い品種を選択します。 ・気候変動適応に関する情報収集に努めます。 ・保水性建材や貯留した雨水利用などを進めます。 ・災害に備えた事業継続計画（BCP）*を策定に努めます。 ・防災協定や災害廃棄物に関する協定を締結します。 ・猛暑時には屋外での活動を控えます。 ・エアコン等を活用して、適切な体温調整を心がけます。 ・涼しい軽装、クールビズに取り組みます。 ・事業所や店舗などの敷地内の緑化を進めます。

変更後

第3次八幡市環境基本計画 P.93

個別施策・内容	具体的な取組
健康・経済活動・市民生活の取組	
熱中症予防の推進	熱中症予防のため、ホームページ・SNS・広報誌での周知、各種講座の開催・イベント開催時の注意喚起など、熱中症に関する情報の効果的な発信・普及啓発を進めます。
衛生害虫感染症への適応	ヒトスジシマカによるデング熱などの感染症についての情報を収集・発信し、感染症の予防に努めます。
市内の緑化の推進	地域や街かどの緑化を推進するとともに、市民・事業者と連携、協働しながら適正な維持管理に努めます。 みどりのグリーンカーテンの推進や住宅・事業所の接道部や壁面での緑化を進めます。
市民生活での適応	有事時のライフラインの断絶に備え、備蓄資機材等の整備を進めるとともに、市民自身にも備蓄の啓発を進めます。
熱中症特別警戒アラート発表時における対応	熱中症特別警戒アラート発表時には、市民や関係団体等に対し速やかに情報伝達するとともに、市主催の屋外イベントを安全に実施できるよう対応方針を定めます。 市民が危険な暑さから逃れられるよう、指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）を開放します。
指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）の指定	熱中症特別警戒アラートの発表に備え、市内の一般開放できる公共施設を指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）に指定するとともに、事業者等と連携して、市内の民間施設等の指定を進めます。

<市民・事業者の取組>

市民の取組	事業者の取組
・災害時に備え、水を備蓄します。 ・最新のハザードマップを確認し、自主避難計画を作成します。 ・災害を想定した実践的な防災訓練に参加します。 ・気候変動適応に関する情報収集に努めます。 ・猛暑時には屋外での活動を控えます。 ・エアコン等を活用して、適切な体温調整を心がけるとともに、水分補給をこまめに行います。 ・涼しい軽装、クールビズで行動します。 ・感染症が発生した場合は、正しい情報を収集して予防策をとります。 ・グリーンカーテンの設置など、家庭の緑化に努めます。	・農作物を栽培する場合には、高温障害に強い品種を選択します。 ・気候変動適応に関する情報収集に努めます。 ・保水性建材や貯留した雨水利用などを進めます。 ・災害に備えた事業継続計画（BCP）*を策定に努めます。 ・防災協定や災害廃棄物に関する協定を締結します。 ・猛暑時には屋外での活動を控えます。 ・エアコン等を活用して、適切な体温調整を心がけます。 ・涼しい軽装、クールビズに取り組みます。 ・事業所や店舗などの敷地内の緑化を進めます。 ・市が行う指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）の指定に協力します。

第3次八幡市環境基本計画＜見直し抜粋版＞
含 地球温暖化対策実行計画〔区域施策編〕

令和9年3月

編集・発行 八幡市 建設産業部産業振興室環境政策課

〒614-8501 八幡市八幡園内 75
TEL：075-983-2795 FAX：075-983-1123
HP：<https://www.city.yawata.kyoto.jp>